



大同火災の経営について

I. 経営理念・中期経営計画

1. 経営理念

社 是

われわれは損害保険の公共的使命に鑑み
その普及を図り適正迅速な保障を行う

われわれは企業の信用と繁栄を築き
社会に奉仕する

われわれは知性を高め
よりよき損保人となるよう努力する

2. 経営ビジョン

「この島の損保。」として継続的・安定的に“あんしん・あんぜん”を提供できる事業基盤を築くとともに、お客さまから支持され、沖縄とともに成長し続ける企業を目指す。

3. 中期経営計画

(1) 第12次中期経営計画

当社は、2016（平成28）年4月より第12次中期経営計画（3年間）をスタートさせています。本中期経営計画においては、以下のとおりの基本方針等を掲げています。

■基本方針

「成長し続ける『この島の損保。』の実現」

■基本戦略

- ◎お客さまへ“あんしん・あんぜん”をお届けするための新たなサービス態勢の構築
- ◎将来に向けた経営基盤の強化
- ◎誇りと責任を持って活躍する社員と組織づくり

■数値目標

「損保収入保険料200億円、C/R96%、生保販売目標（AAP）8億円」

4. 会社の特色

(1) 地域社会とともに発展する大同火災

当社は、沖縄県那覇市に本店を置き、主として沖縄県を対象として損害保険事業を営んでおります。

国内損害保険会社のなかで唯一地方に存立基盤を有する会社であり、地域の損害保険会社として地域社会とともに発展してきました。前身会社である「琉球火災」と「共和火災」では、戦後沖縄の復興期に琉球復興金融基盤融資による民間住宅の火災保険引受け等、生活の安定と健全な経済活動の維持に努め、また琉球政府の自動車損害賠償保障法の施行に伴う自賠責保険業務を民営保険として運営し、交通事故被害者の救済にあたってきました。1972（昭和47）年には、沖縄県の本土復帰と同時に国内元受損害保険会社として20番目の認可を受け、新たな一歩を踏み出しました。これからも地域社会とともに発展し地域社会に貢献するため、積極的な営業活動を推進していきます。

(2) 人間尊重が基本

地域社会とともに生き地域社会の発展に寄与するには、人と人との信頼関係を保っていくことをおいて他にありません。当社は、「信頼」という財産のうえに、地域の損害保険会社として公共的使命を果たすべく常に努力を続けていますが、そのためには人と人との融和を図る「人間尊重」が大切です。当社ではこのような考えに基づいて社員の教育や研修を行い人材の育成を図っています。

第12次中期経営計画全体像

【大同火災 経営ビジョン】

「この島の損保。」として、継続的・安定的に“あんしん・あんぜん”を提供できる事業基盤を築くとともに、お客さまから支持され、沖縄とともに成長し続ける企業を目指す。

【中期経営計画 基本方針】

成長し続ける「この島の損保。」の実現

成長し続ける「この島の損保。」とは、“お客さま視点”による業務運営を実現し、沖縄に根差した損害保険会社として“日本一あんしん・あんぜんな沖縄県”の実現に貢献し、お客さま・代理店から絶対的な支持・信頼を得られる会社。

確実な利益の積み上げによる財務基盤の安定



基本戦略 1

お客さまへ“あんしん・あんぜん”をお届けするための新たなサービス態勢の構築

当社の「強み」を活かし独自性を発揮するための新たな取り組み
【主な取り組み】新たなサービス態勢の構築に関する検討

当社の「強み」を更に活かすための取り組みの深化・進化
【主な取り組み】お客さま接点の強化（営業および損害サービスにおける新たな業務プロセスの構築・安定運用）

基本戦略 2

将来に向けた経営基盤の強化

【主な取り組み】収益管理・リスク管理・資本管理の最適化（ERM）

基本戦略 3

誇りと責任を持って活躍する社員と組織づくり

【情報資本に関する主な取り組み】
契約プロセス改善・刷新プロジェクト推進

【人的資本に関する主な取り組み】
キャリアデザインのサポート

【組織資本に関する主な取り組み】
営業店の業務再構築

- 【適正な業務運営を支える基盤】
- ガバナンス・内部統制
 - 内部監査
 - コンプライアンス
 - 業務品質

- 【CSR活動】
- 行政、他業種・他業態とタイアップした社会貢献・地域貢献の取り組み